



「音程」

楽典編④

kanaderu.club



【音程】

2つの音の隔たりの事を音程という。

2つの音が同時に鳴っている状態の音程を『和声的音程』といい

2つの音が連続して鳴る場合は『旋律的音程』という。



【度数】

2つの音の幹音が、その音も含めて何個の幹音にまたがっているかを数字で表すもの。

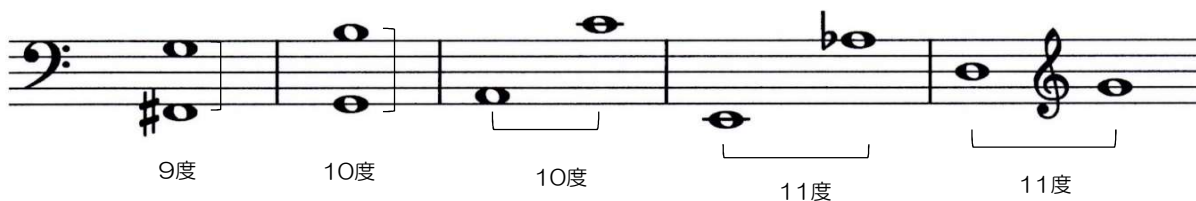
(低い音から高い音を数える)

(臨時記号がついていても考慮しない)



【単音程と複音程】

8度までの音程を『単音程』、9度以上の音程を『複音程』という

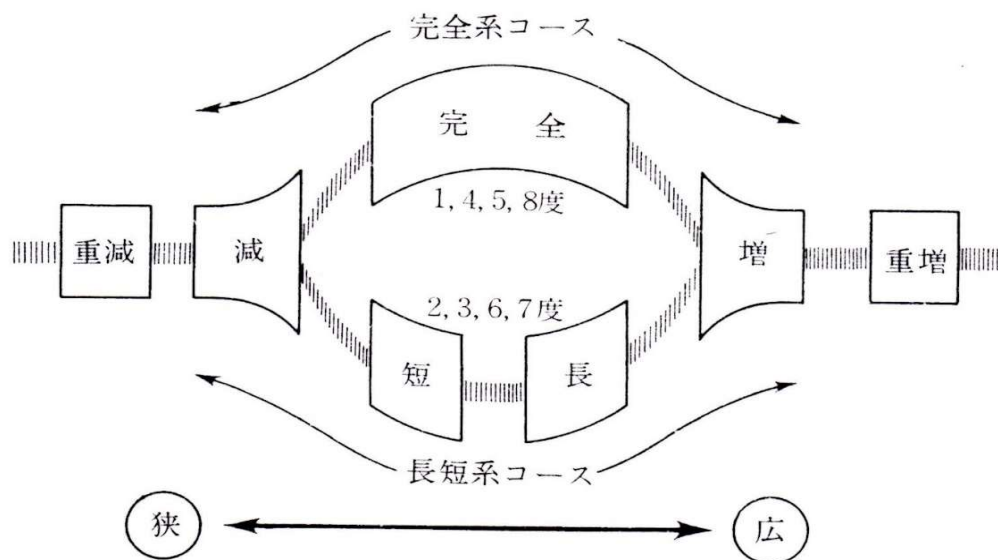


【音程の種類】

音程は、度数によって『完全系』と『長・短系』に分かれる

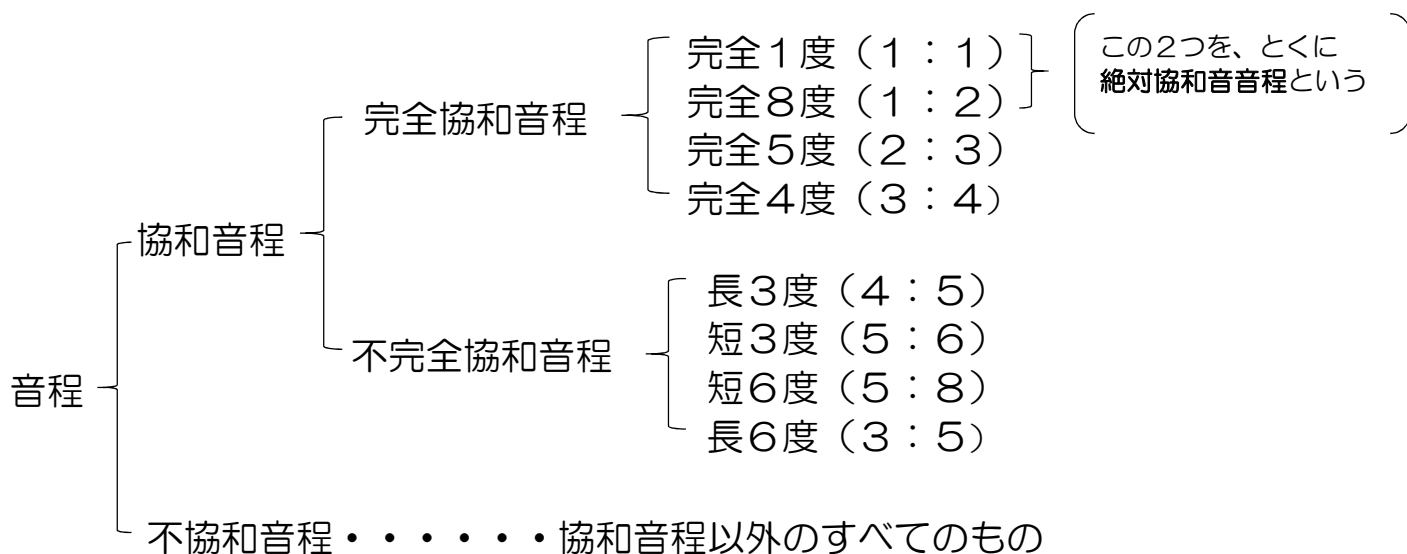
完全系・・・1・4・5・8度

長短系・・・2・3・6・7度



【協和音程と不協和音程】

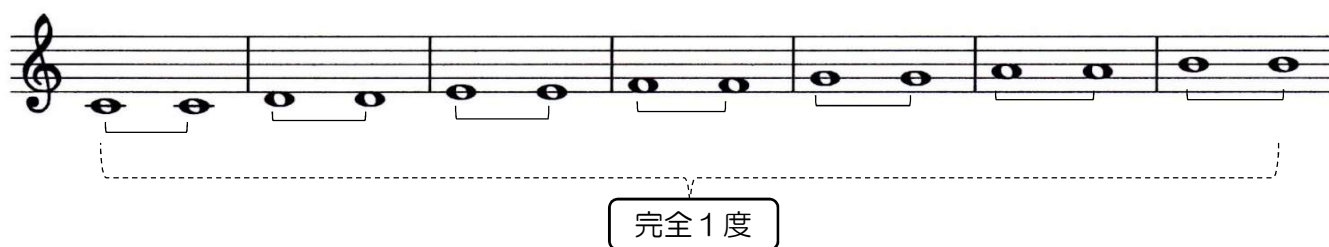
種々の音程は、その音程を作る2音が同時に響いた場合の協和の程度によって次のように分類される。()内は振動数比である



【幹音どうしの2音によってできる音程】

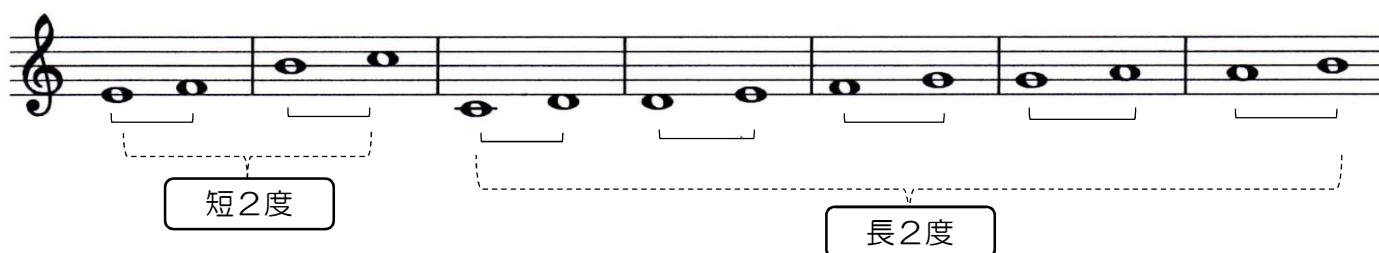
【派生音を含む2音によってできる音程】

[1度・・・すべてが完全1度]



A musical staff in treble clef showing two notes: C4 with a flat (B4) and C4. Text to the right explains: フラットを外したら、完全1度 (Remove the flat, it's a perfect unison). フラットが付いたら半音広くなり『増1度』 (With a flat, it's half a tone wider, 'Augmented Unison').

[2度・・・幹音の半音関係が短2度それ以外は長2度]



A musical staff in treble clef showing two notes: C4 and D4 with a sharp (E4). Text to the right explains: シャープを外したら長2度 (Remove the sharp, it's a major second). 高い音にシャープがついて半音広くなり、『増2度』 (The sharp on the higher note makes it half a tone wider, 'Augmented Second').

[3度・・・幹音の半音が含まれていれば短3度それ以外は長3度]

短3度

長3度

フラット外したら長3度
高い音にフラットついて
半音狭くなり、『短3度』

[4度・・・幹音の半音が含まれていなければ増4度それ以外は完全4度]

増4度

完全4度

フラットを外したら完全4度
低い音にフラットがついて
半音広くなり、『増4度』

[5度・・・幹音の半音が2個含まれていれば減5度それ以外は完全5度]

減5度

完全5度

シャープを外したら完全5度
低い音にシャープがついて
半音狭くなり、『減5度』

[6度・・・幹音の半音が1つ含まれていれば長6度それ以外は短6度]

長6度

短6度

ダブルシャープを外したら長6度
高い音にダブルシャープがついて
2回半音広くなり、『重増6度』

[7度・・・幹音の半音が1つ含まれていれば長7度それ以外は短7度]

長7度

短7度

ダブルフラットを外したら長7度
高い音にダブルフラットがついて
2回半音狭くなり、『減7度』

[8度・・・すべてが完全8度]

完全8度

シャープとフラットを外したら完全8度
低い音にシャープがついて、高い音にbがついて
2回半音狭くなり、『重減8度』

＜問題＞

【1】 次の2音間の音程を答えましょう

- | | | |
|--------|-----------|----|
| ①・・・ (| 度) ②・・・ (| 度) |
| ③・・・ (| 度) ④・・・ (| 度) |
| ⑤・・・ (| 度) ⑥・・・ (| 度) |
| ⑦・・・ (| 度) ⑧・・・ (| 度) |
| ⑨・・・ (| 度) ⑩・・・ (| 度) |
| ⑪・・・ (| 度) ⑫・・・ (| 度) |
| ⑬・・・ (| 度) ⑭・・・ (| 度) |
| ⑮・・・ (| 度) | |

【2】 隣接する各2音間の音程を答えましょう

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.

9. 10. 11. 12. 13. 14. 15.

- | | | | |
|---------|----|---------|----|
| 1・・・ (| 度) | 2・・・ (| 度) |
| 3・・・ (| 度) | 4・・・ (| 度) |
| 5・・・ (| 度) | 6・・・ (| 度) |
| 7・・・ (| 度) | 8・・・ (| 度) |
| 9・・・ (| 度) | 10・・・ (| 度) |
| 11・・・ (| 度) | 12・・・ (| 度) |
| 13・・・ (| 度) | 14・・・ (| 度) |
| 15・・・ (| 度) | | |

【3】 () の中に適切な句を考えましょう

- ①・・・2音間での1度は幹音状態で()度しかなく、派生して下がっても上がっても音程の幅が広がるので()度と()度になることはない。
- ②・・・長2度の高い音が半音上がって()度
- ③・・・3度は長・短系の音程なので()3度になることはない。
- ④・・・完全4度の場合鍵盤の数は()個で増4度は()個
- ⑤・・・減5度は()の半音が2つ入っている
- ⑥・・・短6度は幹音の半音が()つ入っている
- ⑦・・・長7度の鍵盤の数は()個で短7度は()個
- ⑧・・・完全8度の振動数比は(:)である。
- ⑨・・・9度以上の音程を()という。
- ⑩・・・完全1, 4, 5, 8度を()といい長3, 長6度, 短3, 短6度を不完全協和音程という。

<解答>

【1】

- | | | | | | | | |
|---|-------|----|----|---|-------|-----|----|
| ① | ••• (| 短3 | 度) | ② | ••• (| 短6 | 度) |
| ③ | ••• (| 短2 | 度) | ④ | ••• (| 重增4 | 度) |
| ⑤ | ••• (| 長7 | 度) | ⑥ | ••• (| 重增8 | 度) |
| ⑦ | ••• (| 增1 | 度) | ⑧ | ••• (| 增5 | 度) |
| ⑨ | ••• (| 減4 | 度) | ⑩ | ••• (| 完全8 | 度) |
| ⑪ | ••• (| 增2 | 度) | ⑫ | ••• (| 完全5 | 度) |
| ⑬ | ••• (| 長3 | 度) | ⑭ | ••• (| 增6 | 度) |
| ⑮ | ••• (| 減7 | 度) | | | | |

【2】

- | | | | | | | | |
|----|-------|-----|----|----|-------|-----|----|
| 1 | ••• (| 重減4 | 度) | 2 | ••• (| 減2 | 度) |
| 3 | ••• (| 完全5 | 度) | 4 | ••• (| 增3 | 度) |
| 5 | ••• (| 增7 | 度) | 6 | ••• (| 短6 | 度) |
| 7 | ••• (| 增8 | 度) | 8 | ••• (| 完全4 | 度) |
| 9 | ••• (| 短7 | 度) | 10 | ••• (| 減6 | 度) |
| 11 | ••• (| 增5 | 度) | 12 | ••• (| 增2 | 度) |
| 13 | ••• (| 增4 | 度) | 14 | ••• (| 長7 | 度) |
| 15 | ••• (| 完全8 | 度) | | | | |

【3】

- | | | | | | | | |
|---|-------|--------|-----|-----|-----|-----|---|
| ① | ••• (| 完全1 |) (| 減1 |) (| 重減1 |) |
| ② | ••• (| 增2 |) | | | | |
| ③ | ••• (| 完全 |) | | | | |
| ④ | ••• (| 6 |) (| 7 |) | | |
| ⑤ | ••• (| 幹音 |) | | | | |
| ⑥ | ••• (| 2 |) | | | | |
| ⑦ | ••• (| 1 2 |) (| 1 1 |) | | |
| ⑧ | ••• (| 1 : 2 |) | | | | |
| ⑨ | ••• (| 複音程 |) | | | | |
| ⑩ | ••• (| 完全協和音程 |) | | | | |



～次回は音階～